

地震を知る

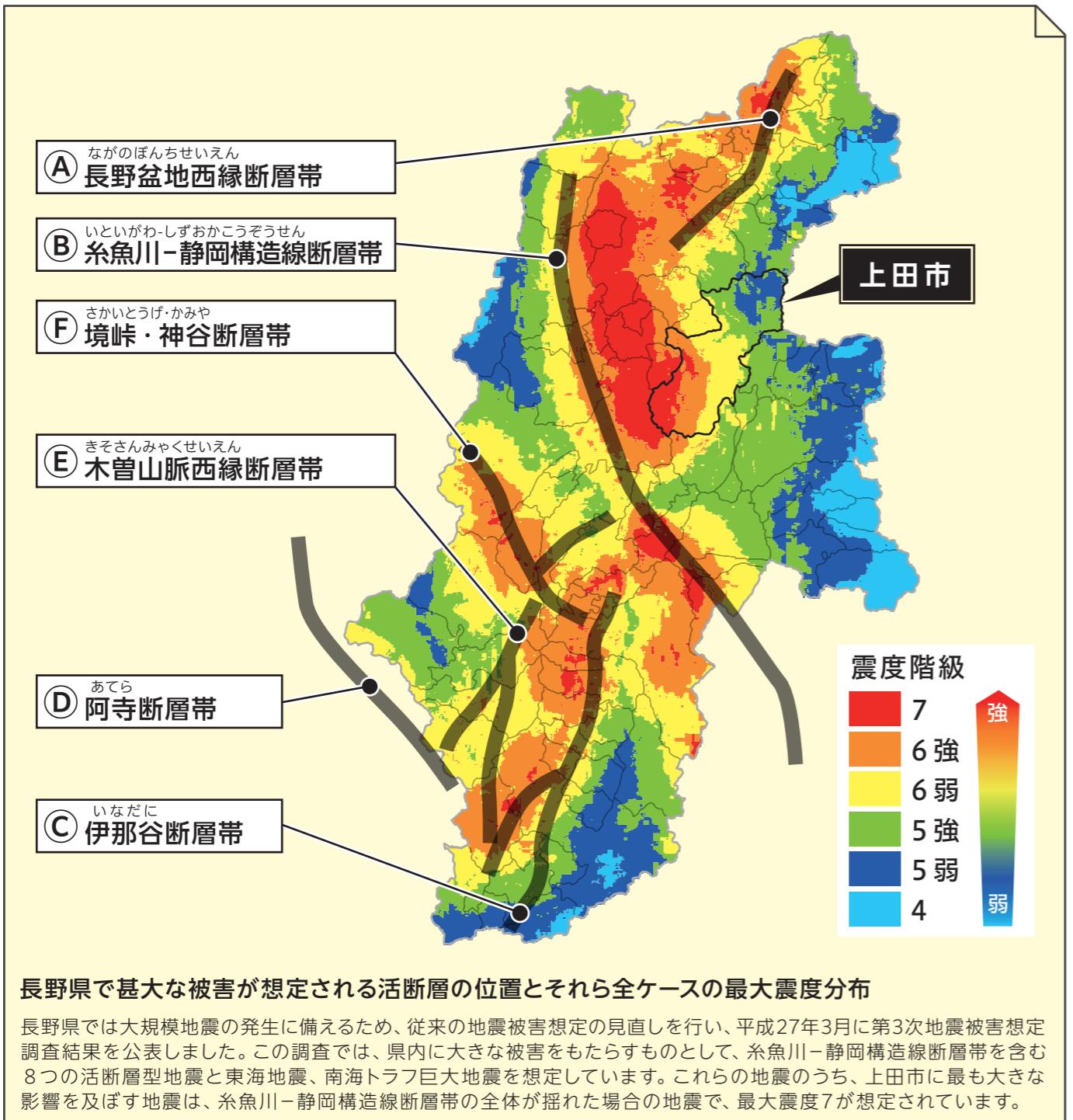
どのような地震の危険性があるのか知っておきましょう。

上田市に影響を及ぼす地震

!**長野県には、糸魚川-静岡構造線断層帯をはじめ多くの活断層がある**

!**糸魚川-静岡構造線断層帯の全体が揺れた場合、最大震度7が想定されている**

＼＼ 長野県内で予想されている大きな地震 //



上田市の地震別最大震度と発生確率の長期評価

主要な活断層について、国でも地震の発生間隔などの長期評価・予測を行っています。令和7年1月に公表された「活断層及び海溝型地震の長期評価(地震調査研究推進本部)」において、「糸魚川-静岡構造線断層帯」は、M(マグニチュード)7.6程度の地震が発生する確率が、30年以内14~30%、50年以内20~50%、100年以内40~70%になっています。また、令和3年3月に公表された「全国地震動予測地図2020年版(地震調査研究推進本部)」では、上田市が今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率は、市の中心地域で6~26%程度になっています。

種類	地震名	地震の規模(M)	上田市の最大震度	長期評価による発生確率*	
				30年以内	予想規模(M)
内陸型地震 (活断層型)	Ⓐ長野盆地西縁断層帯	7.8	5強	ほぼ0%	7.4~7.8程度
	Ⓑ糸魚川-静岡構造線断層帯(全体)	8.5	7	14%~30%	7.6程度
	Ⓑ糸魚川-静岡構造線断層帯(北側)	8.0	6強		
	Ⓑ糸魚川-静岡構造線断層帯(南側)	7.9	5弱		
	Ⓒ伊那谷断層帯(主部)	8.0	5弱	ほぼ0%	8.0程度
	Ⓓ阿寺断層帯(主部南部)	7.8	4	ほぼ0%	7.8程度
海溝型	Ⓔ木曽山脈西縁断層帯(主部北部)	7.5	4	ほぼ0%	7.5程度
	Ⓕ境峠・神谷断層帯(主部)	7.6	5弱	0.02%~13%	7.6程度
	想定東海地震	8.0	5弱	-	-
	南海トラフ巨大地震(陸側)	9.0	5強	60%~90%程度以上	M8~9クラス

*長期評価による発生確率:「活断層及び海溝型地震の長期評価(算定基準日:令和7年1月1日/地震調査研究推進本部)」による糸魚川-静岡構造線断層帯の発生確率は、複数の区間で評価されている中で、最も発生確率の高い区間(中北部区間)のものです。

ポイント 震度と予想される現象

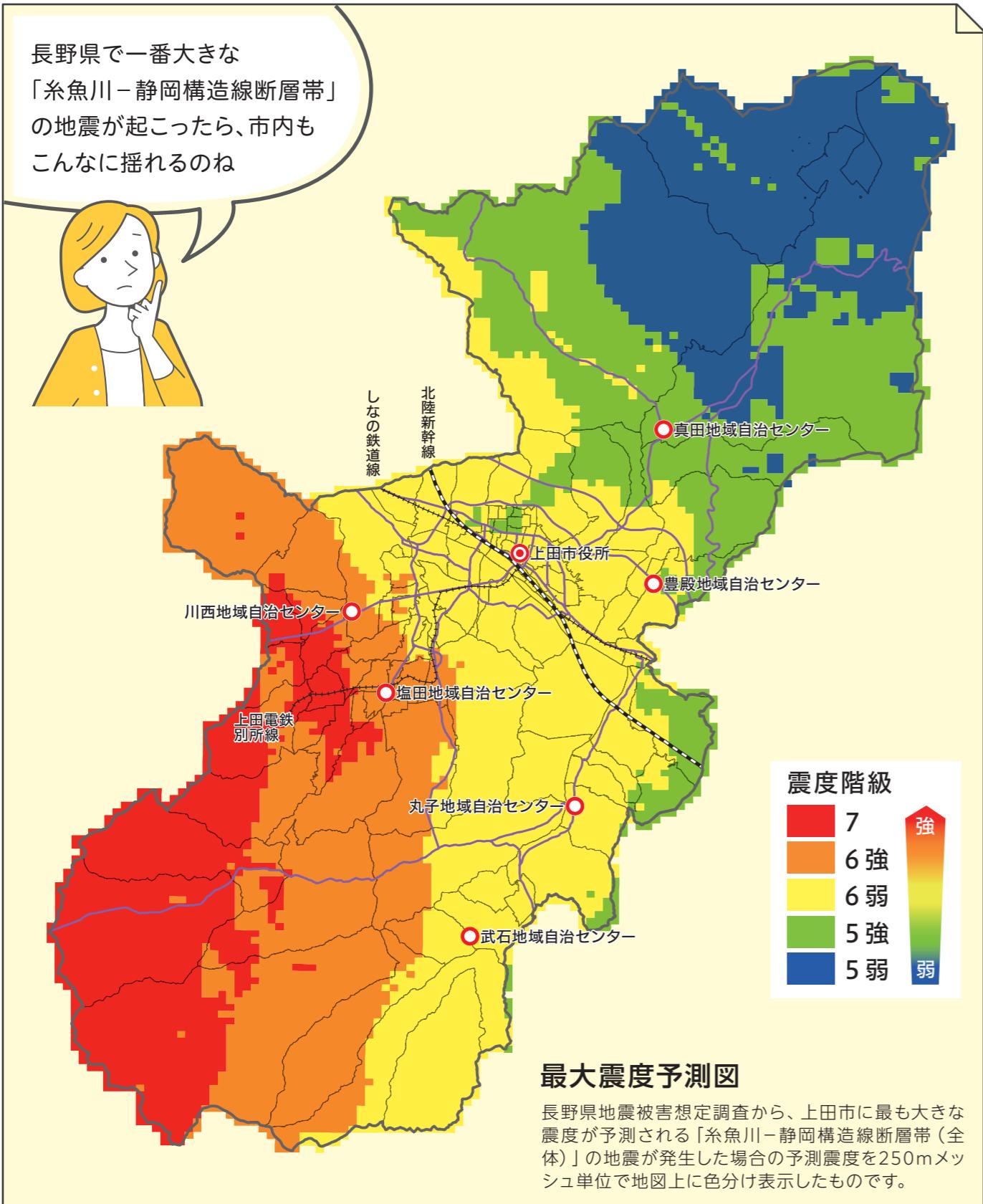
震度
7
震度
6強
震度
6弱
震度
5強
震度
5弱

- ・固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたり、飛ぶこともある
- ・耐震性が低い建物は、傾くものや倒れるものが6強よりさらに多くなる
- ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる
- ・耐震性が低い建物は、傾くものや倒れるものが多くなる
- ・固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある
- ・耐震性が低い建物は、瓦の落下や建物が傾いたり倒れるものもある
- ・棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる
- ・固定していない家具が倒れることがある
- ・電灯などのつり下げ物は激しく揺れる
- ・棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある
- ・固定していない家具が移動することがある



気象庁震度階級関連解説より作成

// 予想される地震のつよさ //



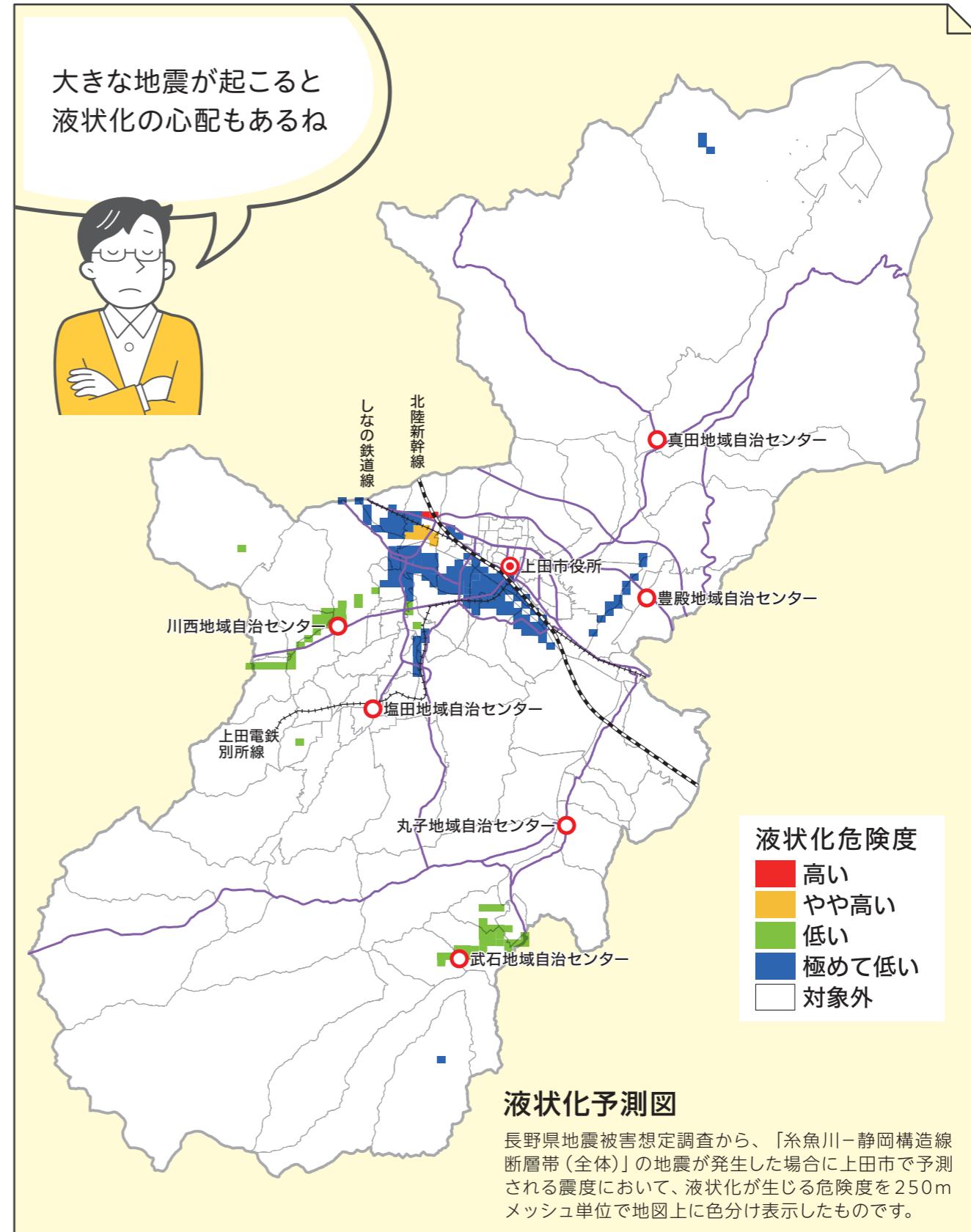
確認しよう

自宅の揺れは？液状化の心配は？

P43~建物被害マップで自宅周辺の予想震度を確認しよう



// 予想される液状化するエリア //



ポイント

液状化で起こる被害

